

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在の理念は具体性がなく、自立性を持たせるには、お年寄りを敬うとは、施設としてどのようなことなのかを具体性がない。	グループホームと言う物の理解度を上げながら入居者の自立支援に向けた取り組みや、高齢者に対し安心した生活維持を目指していく。	人間らしく生活を営むことにどのように支援していくか、自立支援、尊厳の保持などを具体的に取り入れる。	3ヶ月
2	2	事業所が所在する地域の交流はあるが、利用者が生活した場所の交流が少ない。	家族と相談しながら地域の行事に出席できるように配慮していく	思い出のある地域の催しものや利用者との知り合いの交流が必要、家族やご本人様の生活歴から情報の収集していく。	6ヶ月
3	4	運営推進会議に家族の参加がない。	家族にも運営推進会議の案内を郵送し、参加を募っていく。	家族が意見を言える場を作っていく、意見の中で施設を改善・改革していく。	2ヶ月
4	6	現在玄関に施錠がしてあり、拘束にあたるのでは懸念している。	利用者が安全かつ自由に外に出られる状態を作る。	可能な限り、短い時間でも良いので解錠に持っていきたい、職員と相談しながら、時間帯で解錠するようにしていく。	1ヶ月
5	7	虐待防止の徹底は、職員1人ひとりの意識改革が必要。	抑制廃止・虐待防止の研修を各々受講やミーティングでの話し合いが必要。	管理者や主任は利用者を良く知り、変化が無いか観察する。また抑制廃止や虐待に対しての研修を受講を重ね理解していく。	12ヶ月

6	11	<p>運営に関する意見の反映は、自己評価が「代表は、気さくに話を聞いてくれる」と自己評価しているが、基本的な評価が違うのでは。</p>	<p>皆で施設を改善、運営していると言うことを自覚してもらえるように意識を持ってもらう。</p>	<p>ミーティングや話し合いで出た内容の中で運営に関係した意見が出た際は書面等で会社の代表へ届く様にシステムの構築をしていく。また職員より運営への意見が出るように働きかけを行う。</p>	12ヶ月
---	----	---	--	---	------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。